

14 褥瘡推定発生率

指標の解説

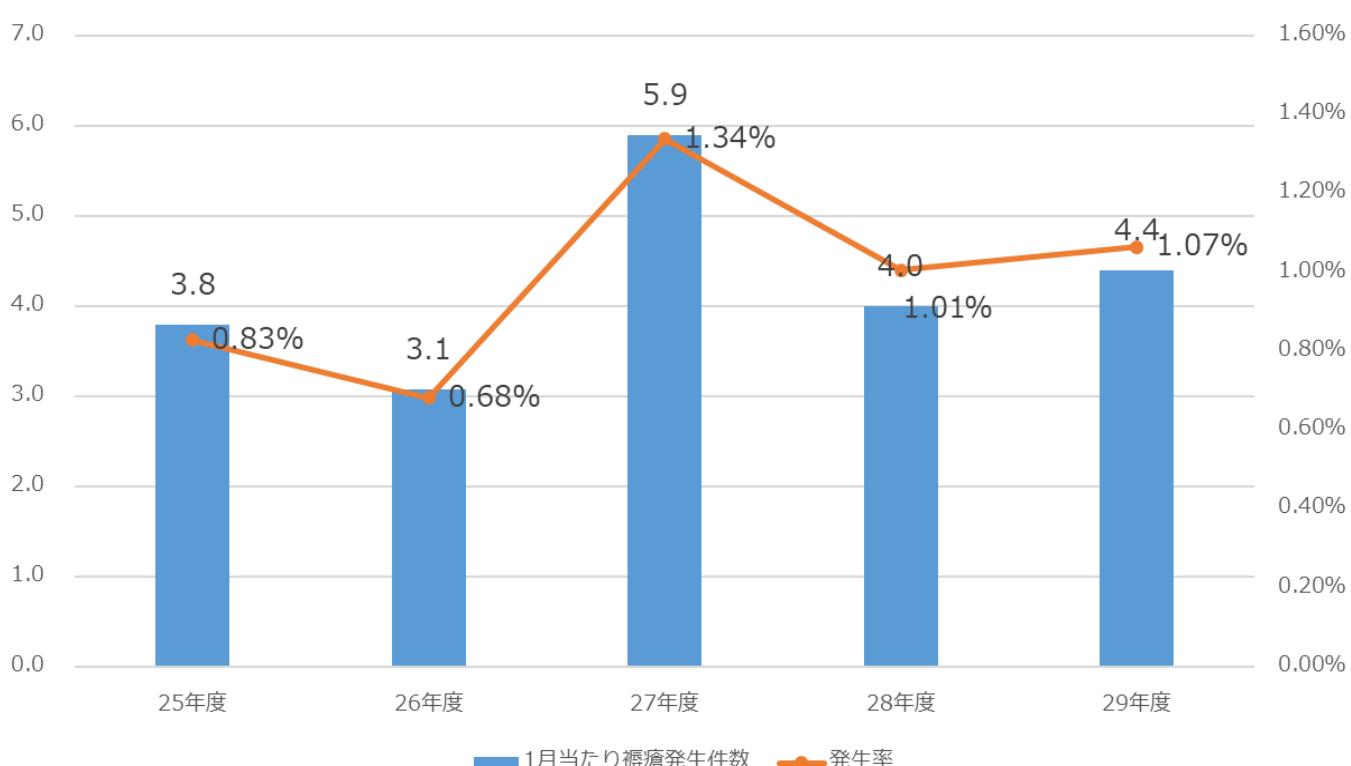
- ・ 褥瘡は、患者のQOLの低下をきたすとともに、在院日数の長期化や医療費の増大に繋がるため、褥瘡予防対策は、提供する医療の重要な項目の1つとして、診療報酬にも反映されている。
- ・ 発生率が低い場合には、患者のQOL向上だけでなく、効率的な医療を提供していると評価できる。

分子：調査日に褥瘡を保有する患者数－褥瘡保有が入院時に記録されていた患者数（1月当たり）

分母：1月当たり入院患者数

参考値：0.74%

(引用元：「平成29年度労働者健康福祉機構臨床評価指標」全労災病院の平均値)



ピークの27年度と比較すると減少しているが、引き続き褥瘡対策チームを中心とした褥瘡予防・管理の取組みを行い、参考値以下を目指す。